

アジア・アフリカ ラテンアメリカ

日本アジア・アフリカ・ラテンアメリカ連帯委員会機関紙

今月の読み物

- 2面 なぜいま「緊急事態条項」の新設か
- 3面 世界の動きから
- 4、5面 代表理事が四国を訪問
- 6面 岡山 AALA ラオス訪問
- 7面 列島 AALA
- 8面 私と AALA

2016年3月1日 No.668

ASEAN 共同体が発足



ASEAN 共同体発足の調印式= 2015年11月 (ASEANのホームページより)

**政治・安全保障など
各共同体の重層的枠組みを構築**

北朝鮮の相次ぐ暴挙を糾弾

日本 AALA は2月5日、以下の声明を発表し、北朝鮮に「衛星」発射の中止を求めました。2月7日の北朝鮮の「衛星」発射は、1月の「水爆」実験につづく暴挙であり、国際社会からの非難・批判が高まっています。

北朝鮮にミサイル打ち上げ計画の中止を求めます

北朝鮮が2月8～25日に予定している事実上の弾道ミサイル発射計画は、国連安保理決議や6カ国協議の共同声明、日朝平壤宣言に違反します。それをあえて強行するのは、1月の核実験に続いて北東アジアの平和と安定を脅かす重大な挑発行為です。

実際、北朝鮮の計画に対し日本政府と米韓両国は迎撃ミサイルを配置するなど軍事的な態勢を強化し、緊張を一層高めるなど国際的な懸念が広がっています。

非核・非同盟の日本と世界をめざして北東アジアの平和共同体の構築の運動をすすめる日本アジア・アフリカ・ラテンアメリカ連帯委員会は、北朝鮮が非同盟国の一員として非同盟諸国会議に参加し約束した非核と軍縮、紛争の話し合い解決などの原則に立ち返って、軍事的な挑発行為をやめ、計画するミサイル発射を中止するよう要求します。

2016年2月5日

日本アジア・アフリカ・ラテンアメリカ連帯委員会

なぜいま「緊急事態条項」の新設か



日本 AALA 理事
弁護士
吉村 駿一

安倍首相は衆議院予算委員会で、今年おこなわれる参議院選挙で憲法改正を争点とすることを明言しました。

安倍内閣は解釈改憲という禁じ手で集団的自衛権を容認して戦争法を強行しましたが、平和憲法の存在は戦争する国づくりにとって厚い壁であり、「憲法守れ」という立憲主義を求める声は止みません。そこで、1955年の自民党立党以来の宿願の憲法改正を実現する好機として、すでに3分の2の発議要件を衆議院で有するため、残る参議院でも3分の2の発議要件を得て、明文改憲を進めようとするものです。改憲のおもなターゲットは9条ですが、これは国民の反対が強いため、改正しやすいテーマとして、緊急事態条項が浮上しました。

自民党改憲案の第98条では、外部からの武力攻撃、内乱等、地震など大規模災害に際して、内閣総理大臣が緊急事態の宣言をすること、第99条には、その場合に内閣は法律と同じ効力をもつ政令を制定して財政支出し、地方自治体に指示でき、国民は国や公の機関の指示に従わなければならないと定めています。

これは、旧憲法の天皇の緊急勅令や戒厳令に相当するもので、三権分立の統治原則に背反します。三権分立は国民の自由と尊厳を守るために権力の集中による濫用を抑制する民主主義の原理です。

現在、緊急事態に対処する法制が存在するため支障はありませんし、法律と同じ効力をもつ政令の制定は国会の立法権を、財政支出は国会の予算権限を奪い、自治体への指示は地方自治を侵害します。問題は、国民の基本的人権の保障です。改憲案では、法の下での平等、奴隷的拘束および苦役からの自由、

思想、良心の自由、集会、結社、表現の自由、通信の秘密等、基本的人権は最大限に尊重されなければならないとしています。このことは緊急事態では基本的人権が制約されることを認めるものです。

憲法は、基本的人権は、人類の多年にわたる自由獲得の努力の成果で、侵すことのできない永久の権利とし、個人の尊厳は守るべき最大の価値としています。従って、緊急事態でも最大限尊重されなければならない、それが政治の責任であり、立憲主義の要請です。

安倍内閣のすすめようとする緊急事態条項は、内閣総理大臣が緊急事態を宣言すれば、基本的人権を制限して、ナチスの委任立法の

ように国会の歯止めなく立法し、地方自治体を手足と使い、財政出動を可能とします。これは内閣の独裁を許すことになり、「戦争する国」づくりです。これに特定秘密保護法と戦争法がリンクすると、主権は内閣総理大臣に存する事態となります。これこそ国民が拒否すべき緊急事態といえます。

元来緊急事態は、非同盟、友好、連帯の外交努力や原発廃止の実行によって予防することが政治の役割と責任であるという平和憲法の原点に立つべきです。(2/1記)

沖縄県宜野湾市長選挙

シムラ恵一郎候補は惜敗

沖縄県宜野湾市長選挙は1月24日投開票でおこなわれ、「オール沖縄・オール宜野湾」のシムラ恵一郎候補が現職の佐喜真淳候補に惜敗しました。

シムラ候補は普天間基地の移設条件なしの返還、新基地建設反対、平和で安心、安全な市政の実現を訴え、全国からの連帯・支援も受けて奮闘しました。市民が選挙での投票に際して「基地問題を重視する」は約50%で、選挙後も基地問題の真の解決が問われます。

現市長は安倍政権の全面的支援を受け、普天間基地の危険性除去を言うものの米軍新基地建設は日米両政府が決めることとし、企業や組織を締め付けての選挙戦でした。

日本 AALA は、県民総意の“普天間基地の撤去、米軍新基地建設反対”などのたたかいを共同して進めるものです。

京都市長選挙

本田久美子候補が健闘

2月7日投開票の京都市長選挙は、現職に新人2人(無所属)が挑みました。事実上、現職と当会運営委員長の本田久美子候補との一騎打ちとなりました。選挙結果は本田候補が健闘するも、残念ながらおよびませんでした。

本田候補は、昨年9月19日に立候補の記者発表にのぞみ、戦争法廃止、原発再稼働反対をかけた、選挙戦に入りました。京都 AALA も本田候補の支持母体である「憲法市政みらいネット」に結集し、京都平和友好団体の一員として、統一行動、そして関西の平和友好団体の「関西統一行動」を大阪 AALA などのみなさんとともにたたかいました。

この雪辱を7月の参議院選挙で果たし、「戦争法」廃止の大きな一歩を踏み出したいと思います。ともに力を尽くしましょう。

(京都 AALA : 辻崎忠由)



北朝鮮が強行した核実験と事実上の弾道ミサイルについて、国連安保理が強い非難声明をだすなど、世界から批判がおきています。関連の情報をお伝えします。

非同盟諸国が批判

マレーシア政府は7日声明を出し、北朝鮮による核実験は国連安保理諸決議への明白な違反であり、世界の軍縮と核拡散体制の深刻な後退だと非難した。声明は「(実験は) 地域と世界の平和と安定への重大な脅威であり、完全かつ全般的な軍縮の目標にむけた世界の努力をむしろむしむもので極めて遺憾だ」「北朝鮮の近年のこうした行為は、地域の緊張を高め、朝鮮半島と世界の永続的な平和の展望を妨げるものだ」「北朝鮮にたいしこれ以上の実験をやめ、国連安保理決議に従うよう求める」とのべている。シンガポール政府も同日声明をだし、北朝鮮の核実験について「地域と北朝鮮自身の平和と安定に深刻な結果をもたらす危険な挑発行動である」と重大な憂慮を表明。この見解を北朝鮮大使を通じて北朝鮮政府に伝えた。(クアラルンプール1月7日 NNN=BERNAMA)

ヨルダン政府は7日声明をだし、北朝鮮による核実験は核兵器の使用を禁じた国際法に違反し、世界の安定を脅かすものだと強く非難した。ヨルダンは包括的核実験禁止条約を最初に調印、批准した国の一つであり、大量破壊兵器の廃絶による世界の安全、平和と安定をもとめる確固とした立場にたっていると強調した。(アンマン1月7日 NNN=PETRA)

ASEAN が非難声明

ASEAN は声明を出し、北朝鮮の核実験は国連決議の違反だと非難した。朝鮮半島の平和と安定の重要性を強調し、平和的な手段による朝鮮半島の非核化を支持すると表明した。声明は「北朝鮮にすべての国連決議に従うよう促し、すべての関係国に地域の平和と安定を維持し、6カ国協議の早期再開にむけた良好な環境をつくる努力をし、地域と世界の平和と安定強化への道を切り開くようよびかける」と述べている。(ブルネイ1月8日 =NNN)

アジア・アフリカ人民連帯機構 (AAPSO) の声明全文

北朝鮮が最近おこなった核兵器の爆発は、朝鮮半島とアジアおよび世界の緊張を高めるものである。AAPSO は核兵器とすべての大量破壊兵器の廃絶と非核地帯の実現をめざした NPT (核不拡散

条約) 再検討会議の諸決議を支持し、世界と一体となって努力していく。関係国が6カ国協議によって緊張のエスカレーションを抑え、朝鮮半島に安定的な平和と安全をもたらすよう呼びかける。

米国などに実験禁止条約 (CTBT) 批准よびかけ

包括的核実験禁止条約の批准推進や実験モラトリアムの管理にあたる包括的核実験禁止条約機構 (CTBTO) のラッシーナ・ゼルボ事務局長は2月1日、パリで記者会見し、北朝鮮の核実験に関連して、「実験をやめさせる唯一の方法は CTBT を発効させることだ」と強調、条約の早期発効を呼びかけた。CTBT は1996年に作成されて署名が公開、現在まで164カ国が署名、批准している。しかし発効には発効要件国44カ国すべての批准が必要で、このなかの米国、中国、イスラエル、エジプト、イランなど8カ国が未批准のため発効していない。ゼルボ事務局長は、昨年イラン核放棄合意で批准にはずみがつき、6月の閣僚会議で未批准国がロードマップに合意することに期待を表明。このなかで北朝鮮問題も協議することになると指摘した。しかし最優先事項は、批准反対派が上院で多数を握る米国のオバマ政権の姿勢だと強調した。(2月1日 ロイター) (国際部長・田中靖宏)

アフリカ・ジブチ問題学習会

日本はアフリカでイスラーム聖戦主義勢力と対峙するのか —ジブチ自衛隊基地問題を中心に—

3/5 (土) 14:00 ~ 16:30 東京労働会館地下会議室 (JR大塚駅南口徒歩7分)

講師: 高林敏之 日本 AALA 常任理事 資料代: 300円 東京都 AALA・日本 AALA 共催

駐日パレスチナ大使講演会

3/17 (木) 18:30 ~ 20:30 北とぴあ・第2研修室 (JR王子駅北口徒歩2分)

講師: ワリード・アリ・シム駐日パレスチナ大使 資料代: 500円 日本 AALA 主催

5000 人の会員をめざし

組織の再開と強化を願って 代表理事が香川県・高知県を訪問

香川 再開への足掛かり、復帰と新加入で3人の会員を迎える

香川県は2006年に結成総会をひらきましたが、その後まもなく中心になっていた役員や各種の要因が重なり、会員登録もゼロになりすべての活動がストップしています。この事態を打開し、再開の展望

をひらくために状況の把握と再開の足掛かりを得ることが目的です。

かつての役員や知人など4人の方と会い、困難な状況を聞くとともに、内外の情勢からして日本 AALA の役割が大きくなっていること、組織

の拡大強化の大切さなどを話し合いました。みなさんには、その意義を理解していただき、再登録や新加入を含めて再開に協力をしてくださることになりました。困難な実情を把握するとともに大変励まされました。

本部に戻り早速、結成当時の理事となんとか連絡を取る努力をすること、新たな加入者などと相談しながら再開めざした手立てを尽くすなど、とりくみを開始しました。

高知

事務局体制強化へ展望、2人の新会員を迎える



高知県のみなさんと

高知県 AALA は、理事長が高齢と病気で高知を離れ、岩川美紀事務局長が病気がちの体で一身に実務を背負いがんばってきました。事務局を強化したいとの岩川さんの願いとご苦労に答えるために、香川県につづき高知県を訪問しました。

顔の広い岩川さんとともに時間ぎ

りぎりまで6カ所、9人に会い、日本 AALA の存在意義を語り、事務局体制強化への協力をお願いしました。そのなかで、労働組合の幹部や元高校の先生など2人の加入者があり、何人かの人から事務局活動への積極的な協力も得られることになりました。さらに、拡大の対象者も紹介されました

3日間の活動でしたが、困難ななかでさまざまな分野で懸命にがんばっているみなさんの姿に感動するとともに、その運動を通して日本 AALA の存在意義を理解してもらえ確信を持ちました。そして、引きつづき組織の拡大・強化にがんばる決意を胸に、夕刻に高知をたちました。

埼玉 AALA は2月8日、埼玉県の民主党と社民党の県本部を訪問し、以下のアピールを手渡して懇談しました。各県 AALA でも同様のとりくみを思い切って強めましょう。

野党各党に訴える

立憲主義を取り戻すには 「野党は共闘」これしかない！

安倍自公政権は、立憲主義という既に人類に確立された普遍的価値に何ら畏敬の念を払うこともなく、それをいとも簡単に投げ捨てて平然としています。反知性主義もここに極まれりの感があります。正に独裁の道は始まっています。

私たちは、2014年7月1日の閣議決定による解釈改憲、そして国民の反対運動のあれだけの高まりの最中の2015年9月19日未明、世論無視のまま一括強行成立させた戦争法を断じて認めるわけにはいきません。

このままでは戦後70年の平和への努力も水泡に帰してしまいます。立憲主義を取り戻し、戦争法を一括廃棄するためには、安倍政権を倒し、閣議決定を取り消せる政権を打ち立てねばなりません。日本の民主主義を守るため、これは負けの許されぬ闘いです。

あの日から既に5ヶ月が経とうとしています。未だ煮詰まらぬ野党共闘に、私たちは本当にやきもきしています。ことはこの国の根幹を立て直さねばならぬ緊急事態なのです。個々の野党が「ぜいたくを言っている場合ではありません(山口二郎氏)」。

既に市民は思想信条の違いを乗り越えて、しかるべき政府を求めて立ち上がっています。「野党は共闘！」の声を、一刻も早く政党がしっかりと受けとめ、本気で「統一候補擁立」に向けて動き出すことを私たちは求めます。

2016年2月

埼玉アジア・アフリカ・ラテンアメリカ連帯委員会

私はこうして会員を増やしています

大阪 AALA 副理事長 上村得世



「戦争するな!どの国も国際署名」にとりくむ大阪 AALA のみなさん。上村さんは左から2番目

1月はさまざまな会が「新年のつどい」を開催しました。このときは提案や議論はほとんどなく、ビール片手にいろんな会の代表の方々と交流します。

つどいのなかで最初に拡大したのは、地域の後援会の女性でした。たまたまとなり合わせに座り、安倍首相の話やニュースが話題になりました。AALA の機関紙の話をする、「読みたい」と言われ、あっさりと入会してくれました。2人目は「明るい民主府政をつくる会」のつどいです。以前から顔見知りの人でしたが、ここでも AALA の機関紙が話題になりました。旅行記事を書いてもらいたいとお願いし、入会してもらいました。この2人の入会は「今日の集まりでは必ず1人は拡大してこよう」と気負って出かけなくても自然に入会をおすすめしていました。

3人目は新しく大阪母親連絡会の会長になった人にぜひ入会してもらおうと、事務局次長の西野敏恵さんと会いに行きました。最初

に訪ねたときは沖縄の選挙応援にで不在でしたが、もう一度会いに行き、入会してもらいました。私が保健所で仕事をしていたときに、同じ地域の病院で助産師をしていたことがわかり、共通の話題で盛り上がりました。母連の事務局長は昨年入会していて、「今後はお互いに協力できることでがんばろう」と話し合いました。

AALA が好きで、1人でも多くの人といっしょに活動がしたい、という思いが、入会のおすすめに繋がっているのだと思います。あの人にもすすめたい、でも1人では…と思っている人は、2人、3人と組になって行くのもいいと思います。

「忘れない」だけでは不十分 運動にもっと勢いが必要だ！

年賀状をやめ 2大署名用紙を送る

埼玉 AALA 理事長
河内研一



1月4日につづき、19日は5800人が残雪の寒いなか、国会につめかけました。しかし、野党共闘実現のためにはまだまだ運動に勢いが足りません。立憲主義回復、これは負けの許されないたたかいです。まずは2000万統一署名、本気でやりきりましょう。

埼玉では機関紙の12月、1月号ともに署名の訴えをトップにかかげ、署名用紙を同封しました。1月号ではしつこく返信用

の封筒も同封しました。

個人としては、今年は年賀状をやめ、元旦の決意を記した文章を添えた2大署名用紙を300通近く投函しました。1月23日現在、配達のない日曜をのぞき、1日も途切れることなく続々と戻ってきています。

思いもよらぬ人がみずから用紙をコピーし、ある人は30人分も、またある人は19人分を集めて送ってくれました。署名慣れしていないとおぼしき人たちが、代筆とは

無縁に1枚1枚心を込めて記入し、送り返してくれています。目頭の熱くなる思いです。まだ訴えの届いていない人たちが大勢いるはず。私たちの心からの叫びを届けましょう。アベを追いつめるためにはもっともって勢いが必要。みんなでいっせいにアクセルを踏み込みましょう

埼玉では今後、野党訪問も実施して共闘を訴えていくつもりです。がんばりましょう。



青年同盟・女性同盟と交流 ほほえみの国ラオスを訪問

日本 AALA 理事・岡山 AALA 正保宏文

私たちが今年の ASEAN 議長国・ラオスを訪問したのは、日本列島を最強の寒波が襲っているときでした。ラオスも同様で、乾季のはずが冷たい雨。最初の夜は寒くて眠れないほどでした。

ラオスは、中国・ベトナム・カンボジア・タイ・ミャンマーの5カ国に囲まれ、人口わずか660万人の国です。金・銀・銅・石炭などの地下資源に恵まれ、電力はベトナムやタイに輸出していますが、道路のインフラなどはまだ未整備のままのところが多くあります。

最初に訪問した古都・ルアンパбанは、お寺と朝市、夜市がにぎやかで、信号が一つもない静かで落ち着いた外人観光客の多いまちでした。毎朝6時から各所のお寺から托鉢に出かける僧侶の姿がみられ、ほほえみの国ラオスにふさわしく感じました。メコン川上流の酒造りのサーンハイ村で買った手織りのマフラーはたったの1ドルでした。

ビエンチャンにある NGO の「ADDP」では、自立をめざす障害者が車イスの修理、IT印刷、美容、クッキーづくりの4つの部門に分かれ働いているです。今回訪れたのは、そのなかのクッキー工場。ラオスの障害者教育はまだまだ不十分で、家に引きこもったままの人がかなりいるそうです。そういう人がこの工場に来ると、はじめはいやがっていてもだんだん慣れてきて、家に帰りたくなくなる人もいるということです。おみやげに買い求めたクッキーは、みんな300ドルにもなりました。

日本 AALA や在日ラオス大使、さらに旅行社の人のおかげで、紆

青年同盟の人たちと
記念撮影▶



余曲折はあったものの、青年同盟、女性同盟と交流ができました。どちらも国家機関で、立派な5、6階建ての建物のなかにもありました。交流した時間は、約60分と約90分でしたが、日本 AALA や岡山 AALA の存在を知ってもらったこと、国際平和や日本とラオスの友好関係を築いていこうという点で、共通理解できました。

青年同盟の敷地内には職業訓練施設があり、日本の青年海外協力隊の一員として日本語を教えている人にも会えました。日本とラオスとの関係はきわめてよく、武道場も建てられ、空手の普及もおこなわれています。

ラオスは、西側を滔々と流れるメコン川を抱き、東側のベトナムとの国境は、山々が連なる自然豊かな国です。かつてベトナム戦争のときには、ゲリラが根拠地にしていたラオスの山岳地帯に、アメリカ軍の情け容赦ない爆弾が雨



女性同盟代表におみやげを手渡す

霰と投下されました。その結果、生態系にも大きな影響を与えました。しかも、クラスター爆弾の不発弾はいまもラオスの多くの人を苦しめています。COPE 記念館では多くの義手や義足が展示されていました。

もの言わぬそれらの資料が、アメリカによるベトナム戦争の残虐性、非人道性を雄弁に語っていました。「戦争 NO」の声、展示資料や映画から伝わってきました。

なお、ベトナムも訪問し、昨年日本 AALA 主催の国際シンポジウムのパネリスト、グエン・バン・フィンさんと懇談しました。

オスパールコーヒーを
広めましょう

埼玉 AALA の事業活動を紹介します。
おいしいコーヒーを飲みながら AALA
の活動を楽しくすすめましょう。

各種催し物で大好評の淹れ立てコーヒー

埼玉 AALA は、事業収入と交流、宣伝を兼ねて、友好団体や実行委員会の各種催し物に可能な限り出店し、コーヒーの販売をすすめています。県内の母親大会や働く女性の集会、国際女性デー集会、土建主婦の会などで、おいしい AALA の淹れたてコーヒーがたいへん好評で、参加者に喜ばれ

ています。

埼玉 AALA 主催の学習会や連帯のついでにもオスパールコーヒーの販売をおこなっています。今後、定期的な購入者を増やすため、機関紙などでオスパールコーヒーの宣伝を載せ、販売を促進したいと思います。

(事務局次長 田中昌子)



愛知

AALAの存在を知り
交流を深める



愛知県 AALA 連帯委員会は、昨年の定期大会以降、次の行事に取り組みました。

11月28日、名古屋市教育館で、「東アジア平和構想の実現に向けー安倍首相70年談話のゴマカシを暴くー」と題して、高橋信愛知県平和委員会理事長を講師とした学習講演会を開催し、15人が参加しました。

高橋さんは、歴史の真実を語り、安倍首相のウソと悪辣さを暴きました。一方で、本島等元長崎市長の卓見の紹介を通して、戦後70年・被爆70年で思考停止をしない観点をと訴えました。最後に、東アジアの平和実現のためには、真の謝罪（事実の認定、心からの謝罪、賠償の実施、次世代への継承）が不可欠であるとまとめました。

12月19日には望年会をひらき、18人が参加しました。第1部は今年の旅行のミニ紹介をしました。中国東北部（旧満州国）の戦跡と加害の跡、ラオスでの托鉢の経験、NPT再検討会議とメーデー発祥の地シカゴ、そしてインドのニューデリーなどの話は「世界を知って日本を変えよう」というAALAの思いによりそうものです。

第2部の宴会では、参加者の一

人ひとりが思いが語り、おおいにもりあがりました。理事だけの内輪の忘年会から多くの会員、非会員にも呼びかけての望年会に広げながら3年、AALAの存在を知っ

てもらうためのよい機会になっています。各分野の活動の交流の場にもなっています。大事なとりくみとしてさらに充実させていきたいものです。（事務局長 新谷清美）

栃木

インドネシアへ
ASEANを学ぶツアー

栃木 AALA では、昨年11月2日から6日に、9回目の東アジア・東南アジア、平和・友好・連帯の旅をおこない、インドネシアに9人で訪問しました。

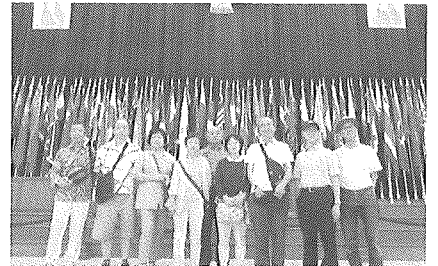
バンドン会議60年・非同盟運動の源流を訪ね、アジア・アフリカ（バンドン）会議博物館を訪問。ASEAN事務局を訪問し、ハビビ研究センターでは、ASEAN研究プログラム責任者のアフマド・イブラヒム・アルムタキ氏ら6人のスタッフと交流をしました。

ハビビ研究センターは、第3代大統領のハビビさんが退任後、成し遂げられなかった民主主義と人権問題をテーマに設置したセンターだそうで、スタッフは若い男女、民族・宗教を考慮したメンバーでした。女性スタッフは「多民族国家（300の部族）のインドネシア

を平和な国家にするために、独立後、どのような国をつくるか議論し、さまざまな争いごと乗り越え、問題を解決することを考える人を増やしてきた」と述べました。インドネシアの未来をつくる若い人たちが、大国間の信頼と相互理解を増進する「橋渡し国」の機能を果たすことを自負し、ASEANの発展に生かす思いに驚きました。

栃木 AALA の旅は「世界を知って日本に生かす」ことを大切にしています。東アジア地域に「平和・協力・繁栄の共同体」をつくることをめざす運動を大きく発展させるために、ASEANの経験に学びたいと思います。

（事務局長 山根吉春）



てもらうという意味では一定の効果があったと考えています。

緒方さんの講演は大変興味深く、アメリカや中国の動向、安倍政権の実態が非常によく分かり、大変勉強になりました。とりわけ、きわめて緊密な米中関係と、それをきちんと理解できない安倍政権の時代錯誤の外交政策は、「百害あって一利なし」で、そうした政権に日本外交をまかせておけないという感を強く持ちました。質問時間を多めにとったので、活発に意見や疑問が出され、緒方さんはそれに対して一つひとついいねいに応え、非常に充実したやりとりとなりました。

学習講演会の内容については、講演や緒方さんが用意した資料、

長野

緒方靖夫さん講演パンフ
500部つくり普及

長野県 AALA では年3回ほど中心的な企画を開催することにしています。一昨年秋にはビッグ企画としてASEANツアーを実施したところです。

その流れを受け、昨秋は11月14日に日本共産党の緒方靖夫副委員長を講師に迎え、「『平和の共同体』実現の道こそ世界の流れ」と題する学習講演会を開催しました。

この学習講演会に向けて、全県に約3万枚のチラシを配布しました。当日の参加者は約60人で、必ずしも多数の参加とはなりませんが、AALAの活動を知っ

質疑を小冊子にまとめ、500部印刷し、会員には無料で配布するとともに、精力的に普及しました。自分たちの地域でも緒方さんの講演会を開催したいという声があり、準備をすすめているところです。

(事務局長 高村 裕)



ました。国柄を深く理解できたなど感想も出されました。なかでも台湾と日本の関係、中国の歴史や領土問題などが解明され、参加者は深く考える機会となりました。『知りたかった ASEAN』や国際シンポジウムのパンフレットの普及もできました。

また、日本平和大会の参加者にも声をかけ、会員が増えました。沖縄の宜野湾市長選挙支援の参加者にも会員を増やすことができました。この間会員5人・読者2人が増えました。

2016年の計画を理事会で討論し、「戦争法」廃止2000万署名推進のために、国民の疑問や関心にこたえる学習会をひらき、とくに若者の参加を呼びかけることにしました。2月は「ISとテロ解決の展望」、4月は「ミャンマーの民主化と今後」です。反響が大きく、チラシも2万枚つくり宣伝しています。

(事務局長 井村弘子)

兵庫

連続講座などのとりくみで 会員を増やす



昨年7月に兵庫県 AALA 再建総会をひらき、日本 AALA の小松崎代表理事の「東アジアを平和、協力、繁栄の共同体に」と題しての学習講演で ASEAN10 カ国の特徴を学びました。国際署名にと

りくむために、アジアを知ることからはじめようと理事会で討論しました。

戦後70年の終戦記念日を前に、安倍政権が中国脅威論をふりまき、立憲主義・平和主義を破壊する「戦争法」成立への危険な情勢のなかで、5回連続講座「見つめよう!アジアと日本を」を開催しました。講師は神戸大学太田和宏准教授でした。5回でのべ122人の参加となり、会員は3人増えました。

参加者は講師の豊富な資料などで、アジア各国の成り立ちや文化・宗教、他国の植民地支配下のもとの国民のくらしなどを認識でき

わたしと

79

AALA

高知県AALA会員
平和資料館草の家館長
岡村正弘

東北アジアに平和を

1998年3月、40年務めた公立病院を定年退職するとき、2歳下の連れ合いも退職し、2人で夜間の県立高知短期大学に入学した。その短大で国際学を教えている弥永教授が高知県 AALA の会長だった。入会を二つ返事で承諾した。

そのころ私は市内にある平和資

料館草の家によく出入りするようになっていた。その草の家に韓国からきた青年、^{キムヨンファン}金英丸が専従で働いていた。近くて遠い国、韓国に行ったことがなかった私に、金英丸は大変魅力的だった。そしてすぐ大の仲よしになった。

高知短大は韓国晋州産業大学と交流があり、お互いにホームステイなどをしていった。短大の授業中、ホームステイを受け入れることができる学生はいないかと問われ、私は迷わずハイと手を挙げた。金英丸がいるから言葉の心配はなかった。以来、短大で韓国語の授業も受け、受け入れ5回、韓国でのステイ3回となった。

金英丸の案内で韓国平和の旅へ

何回も行った。単なる観光でなく日本軍(韓国では日帝という)の侵略の遺跡を訪ねた。2003年6月、草の家一行7人で「ナムムの家」で元従軍慰安婦の女性たちと交流したあと、^{クワンギョ}弾琴台を訪ねた。弾琴台は、豊臣秀吉が朝鮮侵攻した際の激戦地で、日韓の約1万人が亡くなったとされる場所。私たちは韓国の人たち約50人とともに追悼して花を植え、地元報道機関を前に「東北アジア平和のための日韓市民団体共同声明」を発表した。私は団長として、「東北アジアの軍事的緊張は対話を通じてのみ解決できる。有事法制撤回と東北アジア平和共同体の建設のため、市民連帯を強めていく」と訴えた。

編集・発行

日本アジア・アフリカ・ラテンアメリカ連帯委員会

JAPAN ASIA AFRICA LATIN AMERICA
SOLIDARITY COMMITTEE



住所 〒160-0022 東京都新宿区新宿2-11-7 第33 宮庭ビル4階
電話: 03 (5363) 3470 HomePage <http://www.japan-aala.org/>
FAX: 03 (3357) 6255 E-mail: info@japan-aala.org
振替 00110-6-72434 毎月1回1日発行1部150円(送料62円)